

## 令和2年度実施 横浜市公立学校教員採用候補者選考試験 大学推薦特別選考推薦要領

### 1 趣旨

この要領は、令和2年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験特別選考③【大学推薦特別選考】（以下、「特別選考③」）の実施において、候補者を大学（大学院）及び教職大学院が推薦するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考の対象となる受験区分

- (1) 小学校
- (2) 中学校・高等学校（国語）
- (3) 中学校・高等学校（数学）
- (4) 中学校・高等学校（理科）
- (5) 中学校・高等学校（英語）
- (6) 特別支援学校

### 3 対象大学等

平成29年4月1日から令和2年4月1日において、小学校、中学校（国語）、中学校（数学）、中学校（理科）、中学校（英語）又は特別支援学校の、一種若しくは専修普通免許状取得の課程認定を受けている大学（大学院）又は教職大学院

### 4 推薦条件

次の(1)から(6)までの全ての要件を満たす者（中学校・高等学校（英語）で受験する者については、(1)から(7)までの全ての要件を満たす者）で、横浜市公立学校教員を第一志望とし、教師として優れた実践力を発揮することが期待でき、学長が推薦する者。

- (1) 令和3年3月に、小学校、中学校（国語）、中学校（数学）、中学校（理科）、中学校（英語）又は特別支援学校の一つ普通免許状を取得できる大学を卒業する見込みの者、専修普通免許状を取得できる大学院を修了する見込みの者又は教職大学院を修了する見込みの者
- (2) 小学校、中学校（国語）、中学校（数学）、中学校（理科）、中学校（英語）又は特別支援学校の一つ普通免許状若しくは専修普通免許状を有する者又は令和3年3月31日までに確実に取得できる見込みの者  
※特別支援学校区分受験者については、特別支援学校の普通免許状に加え、小学校又は中学校の普通免許状を有する者（取得見込みの者を含む。小学校又は中学校の免許状について免許の区分・教科は問わない）
- (3) 昭和36年4月2日以降に出生した者
- (4) 横浜市教育委員会が求める教師像にふさわしい資質・能力を有する者
- (5) 学業成績が優秀である者
- (6) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない者
- (7) 次の(ア)から(イ)のいずれかの級・スコアを有する者で、学長が推薦に足ると判断した者。ただし、(イ)・(ロ)については、平成30年4月1日以降に取得したものを対象とする。
  - (ア) 実用英語技能検定準1級
  - (イ) TOEIC (IPは除く) 800点以上
  - (ロ) TOEFL iBT 80点以上

5 推薦の人数

(1) 小学校

各大学（大学院）における推薦人数は、令和元年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の小学校区分における、令和2年3月卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、次のとおりとする。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から人数の上限を設けず推薦することができる。

○大学（大学院） 1～11名

令和元年度最終合格者数	推薦人数	令和元年度最終合格者数	推薦人数
20名以上	11名	6～7名	6名
16～19名	10名	4～5名	5名
13～15名	9名	3名	4名
10～12名	8名	2名	3名
8～9名	7名	1名	2名
		0名または新規	1名

○教職大学院 上限なし

なお、中学校教諭普通免許状（英語）取得者（取得見込みを含む）又は次の（ア）から（イ）のいずれかの級・スコアを有する者については、上記に定める小学校区分の推薦人数とは別に1名を推薦することができる。

ただし、（イ）・（イ）については平成30年4月1日以降に取得したものとする。

※推薦人数とは別に1名を推薦できる大学は、小学校の課程認定を受けている大学のみとする。

○大学（大学院） 1名

必要とする資格・級・スコア	推薦人数
中学校教諭普通免許状（英語）	1名
（ア）実用英語技能検定準1級	
（イ）TOEIC（IPは除く）730点以上	
（イ）TOEFL iBT 80点以上	

※中学校教諭普通免許状（英語）について、専修、一種、二種の別は問わない。

(2) 中学校・高等学校（国語、数学、理科及び英語）

各大学（大学院）における推薦人数は、令和元年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の中学校・高等学校区分（国語、数学、理科及び英語）における、令和2年3月卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、次のとおりとする。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から各教科1名を推薦することができる。

【各教科】

○大学（大学院） 1～2名

令和元年度最終合格者数（各教科）	推薦人数（各教科）
1名以上	2名
1名未満または新規	1名

○教職大学院 1名

(3) 特別支援学校

各大学（大学院）における推薦人数は、令和元年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の特別支援学校区分における、令和2年3月卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、次のとおりとする。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から1名を推薦することができる。

被推薦者の有する（取得見込みを含む）特別支援学校免許状について、領域は問わない。

なお、受験資格として特別支援学校の普通免許状に加え、小学校又は中学校の普通免許状を有する（取得見込みを含む）ことが必要となるが、小学校又は中学校の免許状について免許の区分・教科は問わない。

○大学（大学院） 1～2名

令和元年度最終合格者数（各教科）	推薦人数（各教科）
1名以上	2名
その他（1名未満または新規）	1名

○教職大学院 1名

6 翌年度以降の推薦の人数

被推薦者に欠席者・辞退者が出た場合は、合格者数にかかわらず、翌年度以降の推薦人数を減らす場合がある。

7 推薦手続等

(1) 推薦書類の提出

ア 提出書類

各大学において取りまとめの上、受験区分に応じて次の(ア)から(イ)までの書類を郵送で提出する。

提出書類	推薦者又は証明者	受験区分					特別支援学校
		小学校	中学校・高等学校				
			国語	数学	理科	英語	
(ア) 推薦書	学長（又は学部長）	○	○	○	○	○	○
(イ) 英検・TOEIC・TOEFLiBTの級・スコアを証明する書類 （推薦者が原本を確認した場合は、写し可）	各試験の実施機関等	○※	—	—	—	○	—
(ウ) 中学校教諭普通免許状（英語）取得見込証明書 又は教育職員免許状授与証明書	大学等	○※	—	—	—	—	—
(エ) 学業成績証明書	大学等	○	○	○	○	○	○
(オ) 大学推薦結果送付書	—	○	○	○	○	○	○

※小学校区分における英語に係る資格・級・スコアによる推薦者は提出を要する

イ 提出期間

令和2年4月6日（月）～5月12日（火）

※令和2年5月12日（火）消印有効（持込不可）

ウ 提出方法

各大学において取りまとめの上、簡易書留により提出する。郵送に際しては、封筒（角型2号）の表面に「特別選考③提出書類在申」と朱書きし、封筒の裏面に担当部署、担当者名及び連絡先を明記する。

(2) 受験申込

ア 申込方法

被推薦者が、インターネットにより申込みを行う。

インターネットによる申込みができない場合のみ、「令和2年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内」に定める受験申込書を、(1)の提出書類と合わせて郵送で提出する。（受験申込書は被推薦者が入手すること。）

イ 申込期間

令和2年4月6日（月）～5月15日（金）午後5時まで

※郵送提出の場合は5月15日（金）消印有効（持込不可）

(3) 注意事項

その他の受験区分、選考区分と重複して申し込むことはできない。

## 8 選考方法及び結果の通知

- (1) 提出書類の内容を総合的に審査、選考の結果、相当と認められた者は特別選考③合格者として、第一次試験の教科専門試験及び一般教養・教職専門試験を免除する。特別選考③の第二次試験の内容は、「令和2年度実施 横浜市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内」を参照すること。
- (2) 大学には、6月中旬～下旬に選考の結果を通知する。
- (3) 被推薦者には、次のとおり選考の結果を通知する。
  - ア 合格した者には、受験票に合格した旨を記載して、通知する。
  - イ 合格しなかった者には、受験票に一般選考で第一次試験を受験することができる旨を記載して、通知する。
- (4) 特別選考③合格者の第二次試験における合否結果は、第二次試験の選考結果発表日以降に、大学及び被推薦者へ通知する。

## 9 提出先及び問合せ先

横浜市教育委員会事務局 教職員人事課 任用係 採用担当

住所：(令和2年5月6日(水)まで) 〒231-0017 横浜市中区港町1-1

(令和2年5月7日(木)から) 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話：045-671-3246 FAX：045-681-1413